社会福祉法人新生会

2023年度事業報告書

2023年5月に新型コロナウイルス感染症法上の取り扱いが変更されたことにより、外出行事等の年間行事の再開・拡充を進めた。

深刻な介護人材不足は続いており、介護職員等の確保は引き続き重要な課題である。2023年11月には、「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づき、介護・障害福祉職員の収入を2%程度引き上げるための「福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金」が交付された。

その他、当法人においては、外国人介護人材の採用・定着を進めるとともに、職員の処遇改善や労働環境整備の改善に努めることで、働きやすい環境づくりに重点的に取り組んできた。

経年劣化が顕著であった空調設備の更新、屋上防水工事等に取り組んだ。その他、業務効率化の推進のため、ICT機器の導入や見守り支援機器等の介護ロボット導入を進めた。

このような状況の中にあって、あしたの丘では、2023年度事業計画に基づき、感染予防策と利用者の基本的な生活の支援の両立を図りながら、次のような活動を展開してきた。

○利用者への日常的な身体介護等の提供とともに、利用者の短期目標・長期目標の実現に向けた支援を行った。

○地域の医療機関、福祉機関の協力を得ながら、栄養、保健、リハビリ等のサービスの提供により、健康管理に努めた。特に医療的ケアが必要な障害者の支援を重点的に行った。

○利用者の高齢化・重度化及び設備・備品等の老朽化に伴い、緊急度の高いものから順次、施設設備の修理・改修等を行い、健全な生活環境を整えた。

Ⅰ　社会福祉事業（あしたの丘事業）

1 障害福祉サービス事業

（1）**生活介護事業 A**（障害福祉サービス事業）・・・・・・・・・・定員６０名

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえて、施設内、施設外における活動を実施した。感染予防策と利用者の日常生活の両立を図るため、創意工夫を凝らした活動を実施した。

2023年度の入所者数は、月平均で**57.9人**（2022年度57.8人、2021年度57.8人、2020年度59.2人）であった。

利用者は、名古屋市内の方が 80.6%（2022 年度 82.1%、2021 年度 81%、2020 年度 79.7%）で、名古屋市外の方が 19.4%（2022 年度 17.9%、2021 年度 19%、2020 年度 20.3%）であった。

…… 資料 1

①日課

- 利用者のニーズに基づく選択可能な余暇活動の提供
- 個人の身体状況、多様な利用者ニーズに対応できるサービスの充実

②身体介護

- 個別支援計画に基づく生活の質の向上を目指した身体介護の提供
- ADL 向上を目的とする生活リハビリの提供、福祉用具等（介護用品、自助具、補装具等）の活用

③行事

- 利用者ニーズに基づく選択可能な行事の企画
- 利用者の誕生月に願いを叶える「あなたの願い応援します企画」を通常実施

［年間・季節行事］

- 誕生会・あしたの丘まつり・クリスマス会等の施設内における行事を拡充
- 6 月より感染予防対応を講じて家族等の活動参加を再開した。

［月間行事］

- 買物ツアー等の外出行事は 7 月より感染予防対応を講じて再開した。

④余暇活動

- 入浴・余暇充実等の活動の工夫と推進
- ボッチャ、カラオケ、動画鑑賞等のクラブ活動や音楽療法、テルミー等の外部講師等を招いた活動を実施
- 感染予防策を講じた班活動の実施

…… 資料 2

⑤食事の提供

- 2020 年より感染症対応により提供形態を変更していた昼食のバイキング方式を 6 月より再開
- 医療的判断に基づく身体状況に合わせた特別食の提供
- 利用者ニーズに基づく選択可能な行事食の提供（1 回／月）
- おやつの提供（2 回/週）、職員おススメおやつ企画の実施
- 施設内喫茶の運営

⑥健康管理

・ 嘱託医の診療、看護師による健康管理
・ 健康診断（２回／年)、インフルエンザ予防接種等の実施
・ 嘱託医及び協力病院との連携による医療の提供
・ 施設内の感染症予防対応

…… 資料　3

⑦生活リハビリ

・ 利用者の目標に沿った個々の生活に合わせたリハビリテーションの提供
・ 理学療法士による機能回復訓練
・ 車イス等の補装具の調整、申請

…… 資料　4

⑧その他

・ 地震や火災を想定（夜間や昼間）した防災訓練の実施（２回以上／年）
・ 利用希望者及び家族等への見学対応

（２）**生活介護事業 B**（ディ・サービス事業)・・・・・・・・・・・・定員２０名

創意工夫を凝らした各種活動を実施した。利用人数は、1 日平均 **13.9 人**（2022 年度 12.4 人、2021 年度 12.9 人、2020 年度 11.4 人)であった。

…… 資料　5
…… 資料　6
…… 資料　7

（３）**施設入所支援事業**（障害者支援施設)・・・・・・・・・・・・・定員６０名

主として夜間において、排せつ及び食事等の介護、生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援を行った。

（４）**短期入所事業**（障害福祉サービス事業)・・・・・・・・・・・・・定員６名

家庭の事情等により、短期間の入所をする方について、感染予防対応を講じた上で利用目的に沿った支援を行った。2023 年度の利用人数は、1 日平均 **2.5 人**（2022 年度 2.3 人、2021 年度 3.3 人、2020 年度 3.1 人）であった。

…… 資料　8

（５）**相談支援事業**（障害児・者 特定相談事業）

障害ある人が住みなれた地域で自らの選択と決定により、自らの望む暮らし方が可能となるよう地域生活を支援するための相談事業を実施した。

地域の障害者（児）等からの福祉に関する相談に応じるとともに、障害福祉サービス等を利用するためのサービス等利用計画の作成を行った。

相談担当した実人数 10 人(2022 年度 12 人、2021 年度 12 人、2020 年度 12 人)のうち、天白区内の方が 30%(2022 年度 58%、2021 年度 58%、2020 年度 84%)であった。相談のべ件数 613 件(2022 年度 675 件、2021 年度 675 件、2020 年度 662 件)であった。

…… 資料 9

2 施設整備等

経年劣化に対応するため、施設や設備のメンテナンス等、安全管理を行った。その他、利用者の障害状況の変化や職員業務の効率化、負担の軽減を踏まえた設備改修等に努めた。

その他、業務効率化の推進のため、タブレット端末の ICT 機器の導入や見守り支援機器等の介護ロボット導入を進めた。

…… 資料 10

3 職員教育

介護技術や看護の知識習得・技術研修により、質の高いサービスの提供を目指した。あわせて、感染症の発生に備えた対応力を強化するための研修を実施した。

（1）施設内における新人職員教育および職員の知識習得や技術研鑽に努めた。
（2）職員の専門技能の向上を目的とした研修を実施した。その他、集合研修や Web を活用した外部研修に参加した。

…… 資料 11

4 実習生の受け入れ

感染予防対応を講じた上で実習生の受け入れをした。

（1）介護人材の確保や福祉教育への貢献等を目的とする、大学・専門学校等からの実習生の受け入れ（福祉関係資格取得のための実習、教員免許特例法による介護等体験等）
（2）地域の介護、福祉分野における現任者向け研修の受け入れ
（3）グループ施設、関係機関からの要請に基づく体験実習等の受け入れ

…… 資料 12

5 地域との連携や渉外活動

新型コロナウイルスの感染症法上の取り扱い変更により、個人ボランティアの受け入れを再開した。地域連携や渉外活動を再開した。

（１）地域における福祉の拠点活動

①表山学区防災安心まちづくり委員会との連携、地域防災協力

②表山学区地域福祉推進協議会との連携

③施設設備や備品等の地域福祉活動等への提供

④天白区障害者自立支援連絡協議会における活動

⑤あしたの丘へのボランティアの受け入れ

（２）広報活動

①あしたの丘通信の発行（３回／年）

②あしたの丘ホームページを活用した情報発信、職員採用活動

（３）全国身体障害者施設協議会、愛知県身体障害者施設協議会等の関係機関との連携に基づく情報発信、広報活動

（４）ホスピーグループとの協力、連携に基づく地域における福祉活動の展開

…… 資料　13

Ⅱ．公益事業

1　新生会附属診療所事業

2024 年 3 月 31 日現在の在籍患者数は、**計 20 人**（2022 年度 19 人、2021 年度 19 人、2020 年度 19 人）であった。

あしたの丘入所利用者 **20 人**(2022 年度 18 人、2021 年度 17 人、2020 年度 19 人)短期入所利用者 **0 人**(2022 年度 0 人、2021 年度 0 人、2020 年度 0 人）であった。外来 **0 人**（2022 年度 1 人、2021 年度 2 人、2020 年度 1 人)であった。

…… 資料　14

2　日本医動態研究所事業

（休　止　中）

新生会第一病院、名古屋記念病院との研究提携

（１）腎不全に関する研究

（２）癌に関する研究

（３）免疫に関する研究

（４）社会福祉に関する研究